

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改編)

教材名(出典)

主題名

本時の内容項目の見出し

内容項目の分析・理解
(一緒に考えたいポイント)

内容項目に係る児童生徒の実態

期待する児童生徒の考え

★氷山の三層モデル (畿央大学 島恒生教授考案)

教材

登場人物が感じたこと
や考えたこと

道徳的価値についての
考え方や生き方、
信念

①道徳的に変容した登場人物は、誰か。

(A)

② (A) が変容するきっかけになった出来事は、何か。

(B)

③ (A) が、変容を遂げて、どうなったか。(教材に書いてある様子)

(C)

読解レベル(教材から読み取れること)

道徳的価値レベル

本時のねらいを明確にしましょう。

○授業構想

ねらいにせまるための中心発問：教材分析④

児童生徒の予想される多様な反応

問い返しの発問

予想される多様な反応

本時のねらい

- ※本時における一面的な見方から多面的・多角的な見方へとつながる問い返しの発問例
- ① 解決策の理由(動機)を問う発問 「どうしてそう思いましたか。」
 - ② 将来の結果(因果関係)を問う発問 「そうしたら、どうなると思いますか。」
 - ③ 過去の経験を振り返り、将来の見通しを立てる発問 「自分も同じような経験はありませんか。」
 - ④ 可逆性の原理を用いた発問 「自分がそうされてもよいですか。」
 - ⑤ 普遍性の原理を用いた発問 「いつ、どこで、誰にでもそうしますか。」
 - ⑥ 互恵性の原理を用いた発問 「それで皆が幸せになりますか。」
 - ⑦ その他 「～は、どんな気持ちでしょうか。」
「～のしたことをどう思いますか。」

※道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(第2回)における岐阜大学大学院 柳沼良太准教授の配付資料より